

授業科目名称 : 栄養教育論実習 I (実践的教育科目)

授業コード : 24018

授業科目英文名称 : Nutritional Education Practice I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	必修
担当教員			
高江洲 有沙 (実務経験のある教員)			
展開方法	実習		
ナンバリング	IB353		
添付ファイル			
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法
専門力	・修得した知識を応用し、対象者の課題と食および環境との関連を説明することができる。		・定期試験
情報収集、分析力	・対象者の課題を明らかにし、重点を絞った栄養教育を組み立てることができる。 ・与えられた課題を読み取る力をつけることができる。		・定期試験
コミュニケーション力	・ライフステージ別の特徴を踏まえた栄養教育を平易な表現でプレゼンテーションができる。		・プレゼンテーション ・ロールプレイ
協働・課題解決力	・与えられた課題に対し、グループメンバーで協働し、解決に向けた取り組みができる。その際、自らの考えを述べるができる。		・プレゼンテーション ・授業態度
多様性理解力			
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	栄養教育論 I・II で修得した知識を基に、様々なライフステージの対象者（個人や集団）に応じた栄養教育を行うことができる技術や手法を修得する。具体的には、対象者のアセスメントから抽出した課題を基に栄養教育計画・学習指導案を立案の上、効果的な栄養教育を展開することができる実践力を、模擬栄養教育を通して修得する。		
アクティブラーニングの種類	②③④⑥⑩		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験による評価(60%)は、実習内で学修した栄養教育論や臨床栄養管理学・公衆栄養学等を基礎とした内容を筆記式で行う。プレゼンテーション(模擬集団栄養教育)の評価(25%)およびロールプレイ(模擬個別栄養教育)の評価(5%)は、対象者のアセスメント結果および自らの考えやグループの意見を反映させた課題解決が望める栄養教育であるか、対象者にとって平易で理解しやすいかを評価する。なお、プレゼンテーションおよびロールプレイの評価は、模擬栄養教育終了後の事後レポートと併せて評価を行う。授業態度(10%)は、実習へ臨む態度、グループでの取り組み姿勢やメンバーとの協力態度等で評価する。</li> <li>・資料やレポートの提出はポートフォリオを活用し、授業内でフィードバックする。</li> </ul>		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージ別の対象(集団および個別)を想定し、模擬栄養教育を行うことを主とした授業である。その際、適切な栄養教育計画を立案し、それを基に作成した教育媒体を活用したプレゼンテーションや、個別栄養教育に必要な栄養カウンセリング技法を活用したロールプレイを通して学修する。</li> <li>・テーマによって3~6名のグループで模擬栄養教育の準備から実践までを行う。模擬栄養教育実施後は、全員でディスカッションを行い、教育内容等を評価し合う。</li> <li>・担当教員の学校や医療機関等での実務経験から現場をイメージした具体的なアドバイスをを行い、より実践的な技術の修得へ導く</li> <li>・授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</li> </ul>		
教科書・参考書・指定図書	教科書：「改訂 マスター栄養教育論実習」, 建帛社 参考書：日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」, 第一出版、サクセス管理栄養士・栄養士養成講座「栄養教育論」, 第一出版 指定図書：「改訂 マスター栄養教育論実習」, 建帛社		
授業外における学修及び学生に期待すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教育の実施においては、対象者との信頼関係が不可欠であり、その際には栄養カウンセリング技法の活用が求められるため、それらを日ごろの生活から意識し、多くの人とコミュニケーションを図る中で実践することを求める。</li> <li>・授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁、無許可での途中退出は不可とする。</li> </ul>		
授業計画	回	テーマ	授業の内容
	1	栄養教育のための基本(栄養アセスメント)(1-1)	栄養教育に必要なアセスメント(栄養素等摂取量の把握)
			栄養アセスメントの種類を予習する。食事調査に必要な標準的な食品の重量等を復習する。

2	栄養教育のための基本 (栄養アセスメント) (1-2)	栄養教育に必要なアセスメント(栄養素等 摂取量の把握とその他必要な情報の収集) および課題の抽出	栄養摂取量等から課題抽出 する流れを予習する。流れ のポイントを復習する。
3	栄養教育のための基本 (栄養アセスメント) (1-3)	アセスメント結果と抽出した課題、改善策 の提案(プレゼンテーション)(事後レ ポート)	効果的なプレゼンテーショ ン技術を予習する。教員や 学生からの評価内容を基に 振り返る。
4	対象者別栄養教育 (2-1) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育に向けた計画の立案	妊娠期の特徴や問題点、マ ネジメント計画を予習す る。妊娠期の特徴を復習す る。
5	対象者別栄養教育 (2-2) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育に向けた計画に基づく 栄養教育の準備(教育媒体等作成)	妊婦への模擬栄養教育のポ イントを予習する。教育媒 体作成のポイントを復習す る。
6	対象者別栄養教育 (2-3) (集団教育)	妊娠期 集団栄養教育の実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート)	妊婦への効果的なプレゼン テーションに向けて予習す る。教員や学生からの評価 内容を基に振り返る。
7	対象者別栄養教育 (2-4) (個別教育)	個別栄養教育に必要なカウンセリング技法 妊娠期 個別栄養教育の実施 (ロールプレイ)(事後レポート)	妊娠期の個人が有する問題 の解決に向けた栄養教育を 予習する。個別教育のポ イントを復習する。
8	対象者別栄養教育 (3-1) (集団教育)	離乳期・幼児期 集団栄養教育に向けた計画の立案	離乳期・幼児期に関連す る特徴や問題点を復習し、 栄養教育計画を予習する。 授乳期の栄養教育のポ イントを復習する。
9	対象者別栄養教育 (3-2) (集団教育)	離乳期・幼児期の集団栄養教育の準備(教 育媒体作成等)	離乳期・幼児期の特徴や問 題点解決のための教育方 法を予習する。各期のポ イントを復習する。
10	対象者別栄養教育 (3-3) (集団教育)	離乳期・幼児期の集団栄養教育の準備(教 育媒体作成、リハーサル等)	離乳期・幼児期への分か りやすいプレゼンテーショ ンに向けて予習する。幼 児期の栄養教育のポ イントを復習する。
11	対象者別栄養教育 (3-4) (集団教育)	離乳期・幼児期の集団栄養教育の実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート)	乳児期・幼児期へ効果的な プレゼンテーションに向 けて予習する。教員・学 生等からの評価内容を基 に振り返る。
12	対象者別栄養教育 (3-5) (個別教育)	離乳期・幼児期 個別栄養教育の実施 (ロールプレイ)(事後レポート)	離乳期・幼児期の個人が 有する問題の解決に向 けた個別教育の方法を 予習する。個別教育の ポイントを復習する。
13	対象者別栄養教育 (4-1) (集団教育)	高齢期 栄養教育に向けた計画の立案	高齢期の特徴から問題 点を抽出、マネジメント 計画を予習する。問題 解決のための教育計 画を復習する。
14	対象者別栄養教育 (4-2) (集団教育)	高齢期 栄養教育に向けて計画に基づく教育の 準備(教育媒体等作成)	高齢期の問題点を絞り、 問題となる課題に関 連した教育計画を予 習する。効果的な 栄養教育を復習す る。
15	対象者別栄養教育 (4-3) (集団教育)	高齢期 集団栄養教育の実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート)	高齢者への効果的な プレゼンテーション に向けて予習する。 教員や学生等からの 評価内容を基に 振り返る。
16	定期試験		